



平成28年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年11月11日

上場会社名 株式会社 石井工作研究所 上場取引所 東
 コード番号 6314 URL http://www.i-kk.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 一彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 時枝 典生 TEL 097-544-1001
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第2四半期の業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第2四半期	1,580	11.3	143	—	148	—	272	—
28年3月期第2四半期	1,419	△8.9	△129	—	△124	—	△43	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第2四半期	35.11	—
28年3月期第2四半期	△5.61	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年12月期第2四半期	5,978	4,913	82.2	632.16
28年3月期	5,340	4,618	86.5	594.23

(参考) 自己資本 28年12月期第2四半期 4,913百万円 28年3月期 4,618百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年12月期	—	0.00	—	—	—
28年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有
 2. 配当予想の修正については、本日（平成28年11月11日）公表いたしました「剰余金の配当（中間配当無配）及び配当予想の修正（期末配当無配）に関するお知らせ」をご参照ください。
 3. 当社は、平成28年度より決算期を3月31日から12月31日に変更しております。このため、決算期変更の経過措置となる平成28年12月期は、9ヶ月間の決算期間となっております。このため、期末及び中間の配当基準日が変わっております。

3. 平成28年12月期の業績予想（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,600	—	200	—	210	—	320	—	42.46

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有
 2. 業績予想の修正については、本日（平成28年11月11日）公表いたしました「平成28年12月期第2四半期累計期間における業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。
 3. 当社は平成28年度より決算期を3月31日から12月31日に変更しております。従いまして、経過措置となる平成28年12月期は、9ヶ月間の決算期間となっております。このため、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年12月期2Q	7,800,000株	28年3月期	7,800,000株
② 期末自己株式数	28年12月期2Q	28,086株	28年3月期	28,006株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年12月期2Q	7,771,952株	28年3月期2Q	7,772,064株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算説明資料は、当社ホームページに同日掲載いたしております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(四半期貸借対照表関係)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による各種政策の効果もあって、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、中国を始めとするアジア新興国や資源国の経済の減速が続くなか、英国のEU離脱問題などによる大幅な為替変動や各国の金融政策の影響もあり、依然として世界経済の先行きは、不透明な状況が続いております。

このような経済状況のなか、当社は、半導体・自動車関連製造装置及び精密金型の受注に注力するとともに、工程管理機能の強化及び設計、製造工程での原価管理を徹底した結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高は15億8千万円（前年同期比11.3%増）となり、営業利益は1億4千3百万円（前年同期は1億2千9百万円の営業損失）、経常利益は1億4千8百万円（前年同期は1億2千4百万円の経常損失）、四半期純利益は2億7千2百万円（前年同期は4千3百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①半導体・自動車関連事業

全売上高の99.9%を占める半導体・自動車関連事業の売上高は、前年同四半期に比して11.6%増加し、15億7千9百万円となりました。

②不動産・建築関連事業

不動産・建築関連事業の売上高は0百万円（前年同期実績4百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は28億9千3百万円となり、前会計年度末に比べ4億6千3百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が4億6千5百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が3億9千4百万円、仕掛品が3億2千2百万円及び電子記録債権が2億4千3百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は30億8千4百万円となり、前会計年度末に比べ1億7千4百万円増加いたしました。これは主に、土地が8千8百万円及び投資その他の資産が6千6百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は59億7千8百万円となり、前会計年度末に比べ6億3千7百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は9億1千8百万円となり、前会計年度末に比べ3億4千6百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が1億4千8百万円及び電子記録債務が1億7千4百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定負債は1億4千6百万円となり、前会計年度末に比べ3百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は10億6千4百万円となり、前会計年度末に比べ3億4千3百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は49億1千3百万円となり、前会計年度末に比べ2億9千4百万円増加いたしました。これは主に、当期純利益の計上により利益剰余金が2億7千2百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は82.2%（前会計年度末は86.5%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月13日付当社「平成28年3月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」にて発表いたしました平成28年12月期の通期業績予想及び期末配当予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成28年11月11日）公表いたしました「平成28年12月期第2四半期累計期間における業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」及び「剰余金の配当（中間配当無配）及び配当予想の修正（期末配当無配）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ1,245千円増加しております。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,198,388	732,807
受取手形及び売掛金	679,500	1,073,593
電子記録債権	81,648	325,045
有価証券	10,019	—
商品及び製品	91,762	71,263
仕掛品	257,397	580,363
原材料及び貯蔵品	100,405	102,726
その他	33,239	29,480
貸倒引当金	△22,180	△21,770
流動資産合計	2,430,182	2,893,510
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	588,041	615,847
土地	1,692,509	1,780,904
その他(純額)	112,146	106,948
有形固定資産合計	2,392,697	2,503,700
無形固定資産	11,898	8,875
投資その他の資産	505,327	571,981
固定資産合計	2,909,923	3,084,558
資産合計	5,340,105	5,978,068
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	200,674	348,745
電子記録債務	143,290	317,951
未払法人税等	10,728	66,425
賞与引当金	63,000	71,400
製品保証引当金	5,700	7,230
その他	148,592	106,818
流動負債合計	571,986	918,570
固定負債		
役員退職慰労引当金	15,775	6,108
その他	133,961	140,263
固定負債合計	149,736	146,371
負債合計	721,723	1,064,942
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,186,300	1,186,300
資本剰余金	2,757,259	2,757,259
利益剰余金	667,457	940,317
自己株式	△11,694	△11,724
株主資本合計	4,599,321	4,872,151
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	19,059	40,974
評価・換算差額等合計	19,059	40,974
純資産合計	4,618,381	4,913,125
負債純資産合計	5,340,105	5,978,068

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	1,419,148	1,580,031
売上原価	1,316,935	1,165,346
売上総利益	102,212	414,685
販売費及び一般管理費	231,576	271,329
営業利益又は営業損失(△)	△129,363	143,355
営業外収益		
受取利息	69	1
受取配当金	4,316	4,200
為替差益	480	—
駐車場収入	2,688	3,259
その他	1,791	2,683
営業外収益合計	9,346	10,145
営業外費用		
支払利息	3,154	3,962
支払手数料	1,301	—
為替差損	—	835
その他	94	8
営業外費用合計	4,549	4,806
経常利益又は経常損失(△)	△124,566	148,695
特別利益		
固定資産売却益	1,179	179,778
保険解約返戻金	103,937	—
特別利益合計	105,117	179,778
特別損失		
固定資産売却損	103	—
固定資産除却損	32	—
特別損失合計	135	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△19,584	328,473
法人税、住民税及び事業税	3,639	50,688
法人税等調整額	20,410	4,925
法人税等合計	24,050	55,613
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△43,634	272,859

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△19,584	328,473
減価償却費	35,735	36,979
貸倒引当金の増減額(△は減少)	31,211	△409
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	8,400
製品保証引当金の増減額(△は減少)	780	1,530
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△4,036	226
受取利息及び受取配当金	△4,385	△4,201
支払利息	3,154	3,962
保険解約返戻金	△103,937	—
為替差損益(△は益)	162	843
固定資産売却損益(△は益)	△1,076	△179,778
固定資産除却損	32	—
売上債権の増減額(△は増加)	53,137	△637,489
たな卸資産の増減額(△は増加)	226,675	△304,788
前払費用の増減額(△は増加)	△1,324	△400
未収入金の増減額(△は増加)	1,253	2,649
立替金の増減額(△は増加)	63	△313
その他の流動資産の増減額(△は増加)	541	1,179
長期前払費用の増減額(△は増加)	594	599
前払年金費用の増減額(△は増加)	△63,583	△16,147
仕入債務の増減額(△は減少)	△122,636	322,730
未払金の増減額(△は減少)	△8,814	△11,089
未払費用の増減額(△は減少)	△1,215	10,849
未払消費税等の増減額(△は減少)	△7,279	△47,895
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△44,103	13,137
その他	△378	△8,736
小計	△29,013	△479,686
利息及び配当金の受取額	4,385	4,201
利息の支払額	△3,316	△3,962
保険解約返戻金の受取額	103,937	—
役員退職慰労金の支払額	—	△11,219
法人税等の還付額	33	—
法人税等の支払額	△2,136	△4,294
営業活動によるキャッシュ・フロー	73,890	△494,961
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	—	10,000
有形固定資産の取得による支出	△9,724	△381,390
有形固定資産の売却による収入	61,077	423,411
投資有価証券の取得による支出	△1,249	△11,278
投資活動によるキャッシュ・フロー	50,103	40,742
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△69	△29
短期借入れによる収入	300,000	200,000
短期借入金の返済による支出	△349,000	△200,000
リース債務の返済による支出	△9,716	△10,242
配当金の支払額	△19,501	△245
財務活動によるキャッシュ・フロー	△78,287	△10,518
現金及び現金同等物に係る換算差額	△162	△843
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	45,543	△465,580
現金及び現金同等物の期首残高	693,637	1,198,388
現金及び現金同等物の四半期末残高	739,180	732,807

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(四半期貸借対照表関係)

当座貸越契約

当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行1行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
当座貸越極度額の総額	300,000千円	500,000千円
借入実行残高	—	—
差引額	300,000	500,000

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	半導体・自動車関連事業	不動産・建築関連事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,414,878	4,269	1,419,148
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,414,878	4,269	1,419,148
セグメント損失(△)	△3,671	△18,656	△22,327

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△22,327
全社費用(注)	△107,035
四半期損益計算書の営業損失(△)	△129,363

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	半導体・自動車関連事業	不動産・建築関連事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,579,122	908	1,580,031
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,579,122	908	1,580,031
セグメント利益又は損失(△)	307,328	△7,770	299,558

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	299,558
全社費用(注)	△156,202
四半期損益計算書の営業利益	143,355

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。